



空手道会場 (白浜町)



開会式 (和歌山市)



ソフトテニス会場 (白浜町)



# 2015 紀の国 わがやま国体



ボクシング会場 (田辺市)



サッカー会場 (上富田町)

山岳会場 (みなべ町)

具民参加で 盛り上がる

ロードレース会場 (印南町)



2015 紀の国 わがやま国体 第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

# 天皇杯に輝く

44年ぶりの県内開催となる「紀の国わかやま国体」はこのほど、男女総合(天皇杯)優勝で幕を閉じ、紀南の選手が多数上位に入賞した。24～26日あった「全国障害者スポーツ大会」(紀の

国わかやま大会)でも紀南の選手が活躍し、盛り上がった。2日間にわたり、両大会を写真グラフで振り返る。(29日付はわかやま国体、30日付は障害者スポーツ大会)



カヌースプリント競技 阪本直也選手(27) 県教育センター学びの丘

紀南の選手も活躍



カヌースプリント競技 西山史嗣選手(24) 県教育庁



陸上競技 横堀雅孝選手(18) 田辺高校3年

少年男子A・やり投選手4位入賞。「4投目の時、力が入り過ぎて前のめりになり、目標の高さを傷めた。タイミングが合っていれば100センチを出せたと思うので残念。」



陸上男子カテゴリーA シンクールの200メートルは2種目で優勝。「2種目とも優勝で終わることができて満足なわけではない。多くの人が「頑張れ!」と声を掛けてくれたのが力になった。」

高橋健枝・輪玉もえか選手(14) 上富義中学校3年



体操競技・柴田快輝選手(23)、楠川雄太選手(19) 田辺市役所 順天堂大学

成年男子の自チームで田辺工業高校出身の2人が所属。優勝に貢献した。柴田選手は「優勝できて一安心。これまでいろんな方に支えてもらったので感謝を伝えたい」。楠川選手は「ミスをしたくない。演技の練習を続けてきて、それができた。優勝できて本当にうれしい。」



ホッケー競技 坂本博紀選手(28) 県教育庁

成年男子の選手権として県ゲームを優勝に導いた。「地元開催ということで大きな声援が仲間にも励みになり、力になった。」

祝 天皇杯獲得 ~感動をありがとう~